

特定非営利活動法人日本火山学会 2008 年秋季大会プログラム

期日：2008 年 10 月 10 日（金）～ 14 日（火）

場所：岩手大学工学部（一号館テクノホール・共通講義棟・一祐会館）

〒020-8550 岩手県盛岡市上田 4-3-5

連絡先・責任者名：2008 年度秋季大会実行委員会 林信太郎委員

〒010-0041 秋田市手形学園町 1-1 秋田大学教育文化学部内

TEL:018-889-2651 FAX: 018-889-2655

E-mail: kazan-taikai@ymail.plala.or.jp

A 会場：工学部 1 号館テクノホール B 会場：工学部南共通講義棟 17 番講義室

ポスター会場：工学部南共通講義棟 12 番・13 番教室

懇親会：10 月 12 日（日）17 時 45 分～ 岩手大学生協工学部店

懇親会費：一般会員 4,000 円 学生会員 2,000 円（予定）

現地討論会：10 月 14 日（火）「岩手火山巡検」

【口頭発表スケジュール】

		A会場	B会場
11 日 (土)	午前 09:15～12:00	火山防災・教育 シミュレーション・モニタリング	火山の地震・テクトニクス
	午後 13:15～15:30	火山の物質科学(1)	火山の素過程
12 日 (日)	午前 09:00～12:00	火山の物質科学(2)	地殻変動(1)
	午後 13:15～16:15	火山の物質科学(3)	地殻変動(2)・火山化学 火山電磁気学
13 日 (月)	午前 09:00～12:00	火山の物質科学(4)	

※一人あたりの講演時間は 15 分ですが、3 分は質疑応答時間として残すようにしてください。A と B 両会場とも液晶プロジェクタ 1 台、スクリーン 1 面があります。OHP やスライドプロジェクタは用意できませんのでご注意ください。

【ポスター発表スケジュール】

ポスター掲示：10 月 11 日 9:00～12 日 18:00

コアタイム：10 月 11 日 15:30～17:30

パネルの大きさは、縦 160cm×横 80cm です。ポスター会場には電源がありませんので、電源必要なパソコンやビデオの使用はできません。

大会中に開催される各種委員会や集会

10 月 10 日 13:00-18:00 一祐会館大会議室 公開シンポジウム

10 月 11 日 12:15-13:15 B 会場 火山噴火予知研究委員会

10 月 11 日 17:30-19:30 A 会場 火山防災委員会

10 月 12 日 12:15-13:15 A 会場 火山噴火の数値的予測ワーキンググループ

10 月 12 日 12:15-13:15 B 会場 桜島火山体構造探査打合せ会

10 月 12 日 16:30-17:30 A 会場 臨時総会

10 月 12 日 17:45- 工学部生協食堂 懇親会

10 月 13 日 13:00-14:00 キッチン火山実験

10 月 13 日 14:00-16:00 公開講座 「火山学 Q&A in 岩手ー火山学者に直接聞いてみよう」

A 会場

火山防災と教育
座長：須藤 茂・佐藤 公

9:15- 9:30

A01 2008年における1888(明治21)年の磐梯山噴火写真の
データベース ※佐藤 公・中村洋一

9:30- 9:45

A02 桜島火山における野外博物館活動 ※津根 明

9:45-10:00

A03 火山活動推移予測の定量化に向けての試み
※須藤 茂

10:00-10:15

A04 原子力関連施設設置に関する火山災害影響評価について
※中田節也・C. Connor・B.E. Hill・W. Aspinall・
J-C. Komorowski 他5名

10:15-10:30

A05 GEO Grid火山重力流シミュレーションシステム一次
世代リアルタイムハザードマップの試み—
※宝田晋治・児玉信介・山本直孝・中村良介・
在岡 舞・山本浩万・中野 司

10:30-10:45 休憩

シミュレーション・観測技術
座長：新堀敏基・實渕哲也

10:45-11:00

A06 無人観測機 SKY-1 研究の展開 ※佐伯和人

11:00-11:15

A07 活動的火山における火山灰の連続サンプリング
※嶋野岳人

11:15-11:30

A08 航空機搭載型放射伝達スペクトルスキャナ (ARTS) に
よる桜島の試験観測結果 ※實渕哲也

11:30-11:45

A09 火山灰移流拡散モデルの現業化 一降灰予報の業務開
始について— ※新堀敏基・相川百合・清野直子

11:45-12:00

A10 リモートセンシング技術を用いた火砕堆積物量の推定
一桜島の事例— ※北川貞之・福井敬一・安藤 忍

B 会場

火山の地震・テクトニクス
座長：山本 希・上田英樹

9:15- 9:30

B01 粘弾性的火道の地震波伝播への影響 一数値モデリン
グによる考察— ※山本 希

9:30- 9:45

B02 海底火山活動に伴って発生する地震波の海域シミュ
レーションに有効な差分コードの開発
※竹中博士・中村武史・金田義行

9:45-10:00

B03 1998年マグマ貫入以降の岩手火山における地震活動
※植木貞人・太田雄策・趙 大鵬・平原 聡・
中山貴史・西村太志・田中 聡

10:00-10:15

B04 2008年浅間山小規模噴火について(序報)
※武尾 実・大湊隆雄・卜部 卓・前田裕太・
鈴木由岐・古川晃子・市原美恵 他15名

10:15-10:30

B05 小笠原硫黄島で観測された超長周期振動現象
※上田英樹・藤田英輔・鶴川元雄

10:30-10:45 休憩

10:45-11:00

B06 Temporal change in spectra of monochromatic earthquakes
associated with increase in seismicity at Kuchinoerabujima
volcano ※Triastuty Hetty・井口正人・為栗 健

11:00-11:15

B07 Temporal Changes of Seismic Velocity of Shallow Structure
Associated with the 2000 Miyakejima Volcano Activity
※Anggono Titi・Nishimura Takesh・Sato Haruo・
Ueda Hideki・Ukawa Motoo

11:15-11:30

B08 阿蘇火山中央火口丘の浅部地震反射断面(その2)
※坂口弘訓・筒井智樹・沢田順弘

11:30-11:45

B09 レシーバ関数による阿蘇カルデラの地殻構造解析
※安部祐希・大倉敬宏・平原和朗・加藤 護・澁谷拓郎

11:45-12:00

B10 長白山型の活火山とその世界的分布
※趙 大鵬・山本芳裕

A 会場

火山の物質科学(1)
座長:松本亜希子・鹿野和彦

13:15-13:30

A11 山頂噴火と山腹噴火のマグマ供給系の比較:南千島国後島, 爺爺岳火山の1812年および1973年噴火の岩石学的研究

※中川光弘・松本亜希子・吉本充宏・石崎泰男・石塚吉浩・廣瀬 亘

13:30-13:45

A12 北海道東部, 雄阿寒火山の形成史と噴火年代

※玉田純一・中川光弘

13:45-14:00

A13 北海道東部, 屈斜路カルデラ形成噴火 KpIV における噴出マグマの特徴と時間変化

※松本亜希子・長谷川健・中川光弘

14:00-14:15

A14 テフラ GIS を活用した東北地方の火山ハザードマップ

※小荒井衛・鈴木毅彦・中山大地

14:15-14:30 休憩

14:30-14:45

A15 日本海拡大時のマグマ活動の広域変化:前期-中期中新世の北海道中央部における玄武岩質火山岩の地球化学的特徴

※古堅千絵・中川光弘・廣瀬 亘・足立佳子

14:45-15:00

A16 下北半島, 恐山火山の火山活動史:マグマ噴出率, 噴火様式等の長期的変化

※荒川武久・岡島靖司・水上啓司・志村 聡・宮脇理一郎・百瀬 貢・小林 淳 他1名

15:00-15:15

A17 南部北上・広田累帯深成岩体の形成プロセス

※瀧谷直樹・吉田武義・長橋良隆

15:15-15:30

A18 田沢湖カルデラに辰子堆溶岩ドームが噴出した時期

※鹿野和彦・石塚 治・大口健志・狐崎長琅

B 会場

火山素過程
座長:竹内晋吾・鈴木雄治郎

13:15-13:30

B11 一定の減圧速度で発泡する珪長質マグマの浸透率の変化

※竹内晋吾・東宮昭彦・篠原宏志

13:30-13:45

B12 H₂O に富む気泡と CO₂ に富む流体の化学的相互作用

※吉村俊平・中村美千彦

13:45-14:00

B13 間欠的な爆発的噴火における火道浅部の脱ガスプロセス 浅間火山天明噴火のケーススタディ

※佐藤典子・中村美千彦

14:00-14:15

B14 含水玄武岩質ガラスの加熱時における特異な発泡の発生機構と発生条件についての研究

※幾世宏志・佐伯和人・土山 明・中野 司・上杉健太郎・奥村 聡

14:15-14:30 休憩

14:30-14:45

B15 泡のぶくぶく現象の変動と周囲微小気泡の影響

※市原美恵

14:45-15:00

B16 火山噴煙柱における物理量プロファイル変化とその乱流混合効率への影響

※鈴木雄治郎・小屋口剛博

15:00-15:15

B17 2008年岩手・宮城内陸地震の鬼首間欠泉への影響

※西村太志・植木貞人・市原美恵

15:15-15:30

B18 ストロンボリ火山の噴火映像と高速度収録された空振波形の解析

※後藤章夫・Ripepe Maurizio・Lacanna Giorgio

A 会場

火山の物質科学(2)

座長:伊藤順一・伴 雅雄・佐野 貴司

9:00- 9:15

A19 岩手山大地獄谷火山ガスを形成するマグマ端成分エンタルピーの低さと火山体構造の関係

※大場 武・平林順一・野上健治・澤 毅・
風早康平・森川徳敏・大和田道子

9:15- 9:30

A20 岩手火山, 西岩手カルデラ形成に伴うマグマシステムの変化 =噴出物の同位体組成変化に基づく検討=

※伊藤順一・Nguyen Hoang

9:30- 9:45

A21 蔵王火山, 駒草平火砕岩の斑晶組織・化学組成とマグマ供給系の進化

※武部義直・伴 雅雄

9:45-10:00

A22 沈み込み帯形成初期における島弧火成活動の特徴 ~小笠原母島離島火山岩類の全岩主要・微量元素組成からの考察~

※金山恭子・海野 進・石塚 治

10:00-10:15

A23 伊豆大島火山における地殻内マグマ長距離移動の検討 -大島周辺海底火山体調査速報-

※石塚 治・川辺禎久・中野 俊・荒井晃作・
辻野 匠・下司信夫・坂本 泉 他3名

10:15-10:30

A24 噴出物と史料にもとづく伊豆大島大規模噴火の推移 -1552年天文噴火(Y₃), 1684年貞享噴火(Y₂), 1777年安永噴火(Y₁)の検討-

※津久井雅志

10:30-10:45 休憩

10:45-11:00

A25 西暦886年新島で発生したマグマ水蒸気爆発に伴う羽伏浦火砕流の噴出機構 古地磁気学的手法を用いた推定定置温度による考察

※中岡礼奈・鎌田桂子

11:00-11:15

A26 東伊豆単成火山群および伊豆弧における流紋岩質マグマの²³⁸U/²³⁰Th放射能強度比

※高橋賢臣・栗原雄一・佐藤 純

11:15-11:30

A27 富士火山青木ヶ原玄武岩質溶岩の斑晶斜長石について

※小林由布子・高橋正樹・安井真也

11:30-11:45

A28 帯磁率異方性からみたコールドロン内強溶結凝灰岩の内部構造: 東山梨火山深成複合岩体の例

※金丸龍夫・高橋正樹

11:45-12:00

A29 富士山宝永噴火の際に千葉県佐原で採取された火山灰

※佐野貴司・海老原淳・野村篤志・青木 司・宮地直道

B 会場

地殻変動(1)

座長:小澤 拓・高木朗充

9:00- 9:15

B19 小笠原硫黄島カルデラの地殻変動に伴う重力変化

※鶴川元雄・藤田英輔・上田英樹・野崎京三

9:15- 9:30

B20 PALSAR 干渉解析から得られた小笠原硫黄島の地殻変動 -2006年末から2008年中頃までの時間推移-

※小澤 拓・上田英樹・鶴川元雄

9:30-9:45

B21 ALOS/PALSAR データを用いた干渉 SAR で見た諏訪之瀬島の地殻変動

※及川 純・青木陽介・古屋正人・井口正人

9:45-10:00

B22 地殻変動源推定への火口地形の影響 -霧島山新燃岳山頂部におけるGPS観測を事例に

※福井敬一・坂井孝行・鳥巢啓多・小枝智幸・高木朗充

10:00-10:15

B23 2008年岩手宮城内陸地震前に発生していた地殻変動とその意義

※村上 亮

10:15-10:30

B24 水準測量による地殻変動から推定される神津島における圧力源

※木股文昭・石川溪太・村瀬雅之

10:30-10:45 休憩

10:45-11:00

B25 吾妻山の地震活動に伴う地殻変動

※山崎伸行・近江克也・高木朗充

11:00-11:15

B26 桜島昭和火口噴火に伴う地盤変動の特徴

※井口正人・横尾亮彦・為栗 健

11:15-11:30

B27 桜島南岳におけるB型地震群発および火山性微動発生に先行する地盤変動について

※立尾有騎・井口正人

11:30-11:45

B28 伊豆大島火山の中期噴火予測へ向けて(2): 山体膨張と地中CO₂濃度の長期変動

※渡辺秀文

11:45-12:00

B29 伊豆大島における現在のマグマ蓄積過程 複合ダイクモデルに基づく解析

※森田裕一

A 会場

火山の物質科学(3)
座長: 高橋正樹・宮縁育夫

- 13:15-13:30
A30 宮内庁で見つかった磐梯火山 1888 年噴火の写真一写真の修復と検証一 ※千葉茂樹・佐藤 公
- 13:30-13:45
A31 “浅間火山 B, B', A 降下軽石中に含まれる石質岩片の成因” ※吉瀬 毅・中村美千彦・安井真也
- 13:45-14:00
A32 成層火山を構成する火砕岩の定置機構: 浅間黒斑火山の例 ※高橋正樹・市川寛海・金丸龍夫・安井真也
- 14:00-14:15
A33 北海道雌阿寒岳の火山熱水系 ※平 徳泰・大場 武・大和田道子・森川徳敏・風早康平
- 14:15-14:30
A34 草津白根山火口湖「溜釜」の底質間隙水の化学組成 ※木川田喜一・内田麻美・大井隆夫

14:30-14:45 休憩

- 14:45-15:00
A35 炭化物片を含む火砕流堆積物一植生破壊をおこした室生火砕流堆積物の初期噴火一 ※佐藤隆春・別所孝範・古山勝彦・茅原芳正・山本俊哉
- 15:00-15:15
A36 低発泡度の流紋岩岩片で構成される火砕丘の形成過程: 九州北東部, 姫島火山群の例 ※石川 徹・鎌田桂子
- 15:15-15:30
A37 開放的な累進的融解によるマグマ生成 北西九州, 北松浦玄武岩からの制約 ※柵山徹也・中井俊一・角野浩史・小澤一仁
- 15:30-15:45
A38 阿蘇火山中岳火口湖(湯だまり)における水温・溶存成分濃度の変動解析 ※寺田暁彦・吉川 慎・橋本武志・鎌山恒臣・佐々木寿
- 15:45-16:00
A39 阿蘇火山中岳第 1 火口で採取された湖底堆積物(予報) ※宮縁育夫・寺田暁彦
- 16:00-16:15
A40 “霧島火山群, えびの高原周辺における最近 10,000 年間の噴火活動史” ※田島靖久・松尾雄一・松岡 暁・庄司達弥・伊藤英之・小林哲夫

B 会場

地殻変動(2)・火山化学
座長: 村瀬雅之・大和田道子

- 13:15-13:30
B30 測地学的データから推定する 1979-2000 三宅島圧力源体積時間依存モデル ※村瀬雅之・高野和友・木股文昭
- 13:30-13:45
B31 回転楕円体圧力源による変位を表す経験式(第 2 報)一FE 解析結果に最小二乗法を適用しての係数決定一 ※坂井孝行・福井敬一・高木朗充・山里 平
- 13:45-14:00
B32 個別要素法による岩脈貫入シミュレーション(1) ※藤田英輔
- 14:00-14:15
B33 草津白根山湯釜火口で確認された噴気活動と臨時観測 ※野上健治・山脇輝夫・気象庁火山部・前橋地方気象台
- 14:15-14:30
B34 岩手山周辺地域におけるマグマ性揮発性物質フラックス一地下水流動系を介したフラックスの見積り一 ※大和田道子・風早康平・伊藤順一・高橋正明・森川徳敏・高橋 浩・稲村明彦 他 4 名

14:30-14:45 休憩

火山電磁気学

座長: 相澤広記・鬼澤真也

- 14:45-15:00
B35 岩手山における自然電位観測と数値シミュレーション ※長谷英彰・松島喜雄・伊藤順一・石戸経士・坂中伸也
- 15:00-15:15
B36 三宅島で捉えられた長周期地震にともなう地電位差変動の起源 ※桑野 修・吉田真吾・中谷正生・上嶋 誠
- 15:15-15:30
B37 伊豆大島火山 1950 年噴火フェイズ I に伴う地磁気変化の再検討一(その 2) 楕円体の磁気源 ※笹井洋一
- 15:30-15:45
B38 伊豆大島火山における自然電位マッピング観測一天水浸透と比抵抗構造の効果一 ※鬼澤真也・松島喜雄・石戸経士・長谷英彰・高倉伸一・西 祐司
- 15:45-16:00
B39 伊豆大島における自然電位連続観測 ※松島喜雄・鬼澤真也・長谷英彰・高倉伸一・西 祐司・石戸恒雄
- 16:00-16:15
B40 桜島火山雷起源の地電流パルス ※相澤広記・神田 径・小川康雄・横尾亮彦

臨時総会 (A会場) 16:30-17:30

10月13日(月) 午前

A会場

火山の物質科学(4)

座長: 中村仁美・宮本 毅

9:00- 9:15

A41 SO₂ degassing observed at Japanese volcanoes using an ultra-violet imaging camera

※Bouquet Thomas・Watson Matthew・木下紀正

9:15- 9:30

A42 桜島の灰噴火におけるマグマ脱ガスプロセス: 火山灰に含まれる斑晶ガラス包有物

※宮城磯治

9:30- 9:45

A43 硫黄鳥島の火山地質

※小林哲夫・中野 俊

9:45-10:00

A44 中朝国境, 白頭山 10 世紀噴火の地球化学的特徴から見たマグマシステム

※西本潤平・中川光弘・宮本 毅・谷口宏充

10:00-10:15

A45 基盤の傾斜によって支配される海底溶岩流の形態変移～しんかい 6500 による東太平洋海膨南緯 14 度の海膨軸横断調査結果

※海野 進・岸本清行・ヒルデ トーマス W. C.

下司信夫・熊谷英恵・ホワイト スコット M.

シントン ジョン M.

10:15-10:30

A46 “Miocene magmatism in the NE part of the Carpatho-Pannonian Basin, Central Europe — Geochemical approach —”

※KRASSAY Zita・TSUKUI Masashi

10:30-10:45 休憩

10:45-11:00

A47 ニイラゴンゴ火山シャヘル側火山内の調査: 一溶岩樹木や火口壁面の割目から推定されるもの一

※浜口博之・シラバ M.・ムカンビルワ K.・カセレカ M.

11:00-11:15

A48 二重の沈み込み場における火山フロント: スラブ流体からの制約

※中村仁美・岩森 光・木村純一

11:15-11:30

A49 初生的な島弧玄武岩マグマは水に富む Ca に富む斜長石斑晶の水素含有量からの制約

※浜田盛久・川本竜彦・藤井敏嗣

11:30-11:45

A50 水より軽い火砕物密度流により津波は発生するか?

※前野 深・今村文彦

11:45-12:00

A51 マグマ発生条件の火山岩主要元素組成を用いた推定方法: 部分溶融度, 圧力, 含水量, 溶融温度

※荻津 達

ポスターセッション

ポスター掲示: 10月11日 9:00 ~ 12日 18:00

コアタイム: 10月11日 15:30~17:30

P01 千島列島におけるテフラ層序と火山ガラス組成の広域変化 馬場 章・中川光弘・石塚吉浩・Fitzhugh Ben

P02 北海道西部, 新第三紀藻岩山火山のマグマ混合過程 青柳大介・岡村 聡

P03 氷箱熱流計測 (IBC) による有珠 2000 年新山の放熱率評価 —1977 年噴火後のマグマ冷却過程との比較— 寺田暁彦・吉川 慎・大島弘光・松島喜雄・鎌山恒臣

P04 有珠山西山火口周辺での地温・電磁気・水質調査 田村 慎・高橋徹哉・秋田藤夫・岡崎紀俊・柴田智郎・橋本武志・茂木 透

P05 恵山火山の噴火史と階段図 三浦大助・荒井健一・土志田潔・落合達也・田中倫久・飯田高弘

P06 岩手火山における重力探査

住田達哉・牧野雅彦・渡邊史郎・伊藤順一

P07 岩手山における火山熱水系の数値シミュレーション 松島喜雄

P08 岩手山の火山泥流堆積物と土石流堆積物 花田 類・越谷 信・土井宣夫・菅原泰丞・野田 賢

P09 岩手県高倉火山における噴出物の SiO₂ 量と岩石学的特徴からみた組成変化 中谷咲子・藤縄明彦

P10 板状貫入岩体の冷却分化過程: 山形県青沢ドレライトの単斜輝石の化学組成と微細組織からの制約 高田悠志・小澤一仁

P11 安達太良火山南東部の地質と岩石 伊藤太久・武富健一郎・藤縄明彦

- P12 沼沢火山 BC3400 年カルデラ形成噴火(沼沢湖噴火)の推移
増淵佳子・石崎泰男
- P13 沼沢湖噴火(紀元前 3400 年)で噴出した 2 種類の本質
デイサイト質軽石(その 2)
石崎泰男・増淵佳子・青野泰大
- P14 浅間山 2008 年 8 月 10 日微噴火に見られるマグマ物質について
鈴木由希・古川晃子・中田節也・藤井敏嗣・渡邊篤志・小山悦郎
- P15 小諸層群から読み取れる長野県東部の火山活動史
高橋 康・三宅康幸
- P16 北アルプス, 焼岳火山の下堀沢溶岩噴出時のマグマの噴出過程
橋本真也・三宅康幸
- P17 中部日本, 八柱火山群の火山活動史
西来邦章・高橋 康
- P18 “南八ヶ岳地域, 地獄谷周辺における火山層序の再検討”
柳澤宏成
- P19 南八ヶ岳地域における初期の火山活動の再検討
荻野目泰基・西来邦章
- P20 小御岳火山から古富士火山に至るマグマシステムの変化
安田 敦・藤井敏嗣・金子隆之
- P21 箱根火山大涌谷地熱地帯周辺の噴気ガスについて
代田 寧・棚田俊收・板寺一洋
- P22 伊豆半島及び周辺地域の火成活動史
石塚 治・及川輝樹
- P23 FT 年代, 微化石年代に基づく伊豆半島の火成活動史
及川輝樹・石塚 治
- P24 伊豆大島火山新期大島層群噴火年代の再検討
川辺禎久
- P25 弥生時代の噴火罹災遺跡からみた八丁平カルデラ形成後の噴火とその影響
新堀賢志・杉山浩平・池谷信之・忍澤成視
- P26 Atmospheric dispersal of volcanic SO₂ at Miyakejima
Bouquet Thomas・木下紀正・藤原宏章・稲葉和弘
- P27 明神礁 1952-53 年噴火の噴火現象と堆積物の対比
嶋野岳人・谷健一郎・宿野浩司・鈴木雄治郎・前野 深・下田 玄・フィスケ リチャード
- P29 紀伊半島中央部, 宮ノ谷複合岩脈の産状から推定されるマグマ混合
高島紫野・和田穰隆・新正裕尚
- P30 紀伊半島中央部, 中奥火砕岩岩脈における帯磁率異方性
北嶋亜以子・鎌田桂子・和田穰隆
- P31 青野火山山群, 鍋山火山の岩石学的研究
丸本和徳・永尾隆志
- P32 阿武火山群, 伊良尾火山の噴火史(その 1) —農道建設により見出された火山噴出物の層序と特徴—
堀川義之・永尾隆志・清杉孝司
- P33 長崎県福江島富江火山に産するパホイホイ溶岩の形態と岩石組織
佐藤 彰・永尾隆志・堀川義之・堀江智敬
- P34 始良カルデラ形成前駆的なマグマ活動: マグマ混合の可能性
関口悠子・長谷中利昭
- P35 桜島火山大正噴火東側火口に関する再検討
佐々木寿・小林哲夫
- P36 桜島における 2008 年 2 月に発生した噴火の降灰分布について
田島靖久
- P37 TEPHRA2 による桜島火山の降灰シミュレーション
稲倉寛仁・西園幸久・Connor Charles・Connor Laura・小林哲夫
- P38 桜島昭和火口の噴火活動と噴火に伴う震動波形について
加藤幸司・山里 平・増田与志郎
- P39 紫外線カメラを用いた桜島, 南岳火口及び昭和火口の火山噴煙中二酸化硫黄イメージング及びその定量
風早竜之介・森 俊哉
- P40 桜島における熱赤外線像観測
横尾亮彦
- P41 桜島火山における絶対重力連続観測
風間卓仁・井口正人・山本圭吾・菅野貴之・田中愛幸・松本滋夫・孫 文科
- P42 MT 連続観測による桜島火山浅部の比抵抗変化
相澤広記・神田 径・小川康雄・井口正人
- P43 マグマプラグ内流体の状態: 桜島ブルカノ式噴火前の増圧における重要性
三輪学央・寅丸敦志
- P44 桜島 2008 年の噴火プロセス考察
宮城磯治・伊藤順一・篠原宏志・鹿児島地方気象台
- P45 霧島, 大幡山周辺における鬼界 アカホヤ噴火前後の火山活動
筒井正明・小林哲夫
- P46 鬼界カルデラ・竹島の火山地質
小林哲夫
- P47 九州パラオ海嶺北部火山岩に認められる高温, 低温変質作用による二次鉱物の同定
原口 悟
- P48 インドネシア, ロンボク島におけるカルデラ形成噴火に先行する火山活動の長期噴出率とその変化
土志田潔・高田 亮・古川竜太・Nasution Asnawir
- P49 EM2 の化学的特徴をもつサモア, Tutuila 島火山岩に見出された 2 種の初生マグマ
川畑 博・羽生 毅・木村純一・常 青・賞雅朝子・巽 好幸
- P50 中米・エルサルバドル, イロバンゴカルデラ 3~5 世紀噴火の影響の再評価
北村 繁
- P51 熱力学計算のマンタル溶融への適用
上木賢太・岩森 光
- P52 噴火警戒レベルとその運用について
北川貞之
- P54 火山噴火時の情報収集における SAR 衛星画像の適用について
本田 健・鶴殿俊昭・鈴木 崇・柴山卓史
- P55 ALOS/PALSAR データによる干渉 SAR 解析により得られた有珠山頂および 2000 年噴火口域の収縮性地殻変動
小林知勝・森 濟・鈴木敦生・大島弘光
- P56 干渉 SAR で見た東北地方の活火山周辺における地殻変動
安藤 忍・北川貞之
- P57 “Changes in stress accompanying the 2004 eruption of Mt. Asama, Japan as measured by seismic anisotropy and GPS”
Savage Martha・Ohminato Takao・Aoki Yosuke・Tsuji Hiroshi
- P58 阿蘇火山における GPS 観測
大倉敬宏・及川 純
- P59 北マリアナ諸島アナタハン火山における測地観測
松島 健・田部井隆雄・渡部 豪・加藤照之・森田裕一・前野 深・渡邊篤志
- P60 2004 年 9 月の浅間山連続微噴火の再検討
青山 裕・武尾 実
- P61 高粘性流体中の気泡の振動・破裂で発生する空振の実験的研究
小林 宰・隅田育郎・並木敦子

- P62 火砕サージの衝撃力—雲仙普賢岳 1993 年噴火災害の例—
長井大輔
- P63 マグマの浸透流的脱ガス：気泡の形状緩和とマグマの
圧密の効果 奥村 聡・中村美千彦
- P64 一定でない流体圧による開口クラック周辺の変位と応
力場 楠本成寿・Gudmundsson Agust
- P65 熱水流動に伴うピエゾ磁気効果の評価モデルの開発と
メラピ火山への適用 大久保綾子・神田 徑
- P66 火山周辺の電気伝導度分布への火山ガス散逸の寄与
小森省吾・鍵山恒臣
- P67 CSAMT 調査による箱根大涌谷における浅部比抵抗イ
メージ 棚田俊收
- P68 無人ヘリコプターを用いた伊豆大島三原山における空
中磁気測量
小山崇夫・金子隆之・安田 敦・武尾 実・
柳澤孝寿・本多嘉明・梶原康司
- P69 三宅島の三次元磁気構造
小山 薫・笹原 昇・熊川浩一
- P70 八丈島西山（八丈富士）火山の AMT 法比抵抗探査
山谷祐介・長谷英彰・長尾年恭・原田 誠・
谷口裕紀・富永紘次・中村憲二
- P71 伽藍岳火山周辺の表層比抵抗分布
鍵山恒臣・宇津木充・吉川 慎・寺田暁彦